

経済産業省が定める「DX 認定事業者」に選定

太陽ホールディングス株式会社（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：齋藤 斉、証券コード：4626、以下「太陽ホールディングス」）は、2025 年 12 月 1 日付けで、経済産業省が定める「DX 認定制度」のもと「DX 認定事業者」に選定されたことをお知らせいたします。

「DX 認定制度」とは、情報処理の促進に関する法律に基づき、DX 推進企業を国が認定する制度です。企業経営に求められるデジタル技術の活用戦略・方針を取りまとめた「デジタルガバナンス・コード」への対応状況を、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が審査し、審査基準を満たした企業を経済産業省が認定します。



■長期経営構想と DX 戦略

長期経営構想

Beyond Imagination 2030

想像を超える未来へ

基本方針

- 1 | 多様化する組織や社会に対応する自律型人材の育成・活用
- 2 | エレクトロニクス事業の継続した成長と新規事業領域の創造
- 3 | 医療・医薬品事業の更なる成長
- 4 | デジタルトランスフォーメーションによる進化と変革
- 5 | 新たな事業の創出
- 6 | 戦略的なM&A
- 7 | SDGs(持続可能な開発目標) への取り組み強化

太陽ホールディングスは、“我がグループの「あらゆる技術」を高め、革新的な製品をもって、夢あるさまざまなモノをグローバルに生み出し、楽しい社会を実現します。”という経営理念のもと長期経営構想「Beyond Imagination 2030」を策定し、基本方針のひとつに「デジタルトランスフォーメーションによる進化と変革」を掲げております。

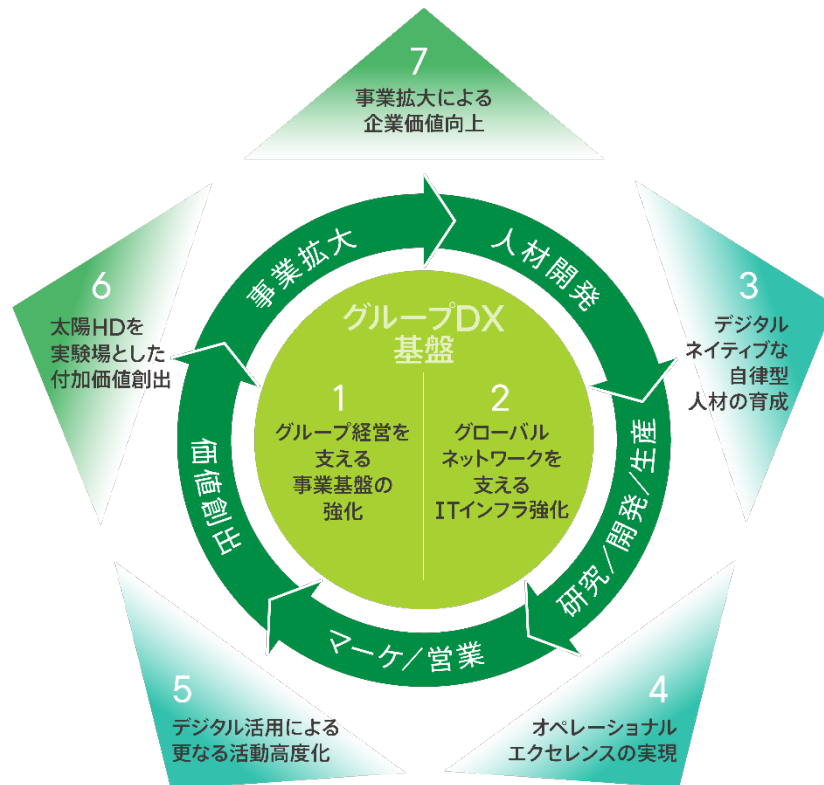
それに沿う形で、DX 目標を「安全かつ信頼性の高い先端テクノロジーソリューション・基盤の提供を通じて『経営・ビジネスの目標達成』『企業価値向上』に貢献する」と決めました。さらに、「攻めの DX」、「守りの DX」、そして「DX を進めるうえでの基盤強化」と 3 つの観点に分類し 7 つの重点領域を定めて DX を推進しています。

経営理念

我がグループの「あらゆる技術」を高め、革新的な製品をもって、
夢あるさまざまなモノをグローバルに生み出し、楽しい社会を実現します。

DX目標

安全かつ信頼性の高い先端テクノロジーソリューション・基盤の提供を通じて
「経営・ビジネスの目標達成」「企業価値向上」に貢献する



〈太陽ホールディングス DX 戦略〉

	DX重点領域	今後の方向性
攻め 新規事業開発による 社会価値の高度化	7 事業拡大による 企業価値向上	STVの更なる拡大を皮切りに 既存事業とのシナジーを生む。 事業創出・拡大を加速させ、 新たな収益源確保を通じて 企業価値を向上する。
	6 太陽HDを実験場とした 付加価値創出	
守り 既存事業強化による 顧客価値の高度化	5 デジタル活用による 更なる活動高度化	自ら目標を立て、目標の実現 に向け高い志を持つ「自律 型人材」を起点に、既存事業 を高度化し、製造業として お客様への提供価値を最大 化する
	4 オペレーショナル エクセレンスの実現	
	3 デジタルネイティブな 自律型人材の育成	
基盤強化 デジタル活用による 更なる活動高度化	2 グローバルNWを支える ITインフラの強化	グループ経営基盤や事業毎 のインフラデータ整備を推 進、データ活用により経営・ 事業運営の高度化を支える
	1 グループ経営を支える 事業基盤の強化	

<PRESS RELEASE>

■今後の取り組み

今後も、「既存ビジネスモデルの深化」、及び、「業態変革・新規ビジネスモデルの創出」との両観点で、DX を推進していきます。

特に、比較的難易度の高い「業態変革・新規ビジネスモデルの創出」の領域において、急速に進むデジタル技術の変化に順応し、先端技術を活用した業務効率化、及び、AI を活用した自社商品/サービス開発を進めており、グループ会社間のシナジーを発揮して、主に製薬業界向けを想定した AI ナレッジマネジメントシステムである「STiV(スティーブ)」を開発しています。既存の主要事業であるエレクトロニクス事業とは全く異なる新規ビジネスモデルで製品/サービス化を実現し、製薬業界を中心に他業界への導入実績も積み上がっています。

太陽ホールディングスは、今後も DX の推進により急速な事業環境の変化に対応し、グローバルな競争力を強化するため、研究開発・生産・営業・マーケティング・新事業開発など、あらゆる業務や仕組みを変革し、新たな価値をお客様に提供してまいります。